

講座 6	バルト海から黒海に広がる地域の国家と民族 ― 大国支配に抗する歴史				オンライン併用
	【会場定員】140名【オンライン定員】100名【受講料(登録コース別)】単期コース 20,080円、1年コース 15,060円、2年コース 13,380円				
	【歴史・文学・人間学】世界史 講座【時間】 毎回10時30分～12時00分（計12回）				
概要	この講座では、欧州東部に位置し、ロシアとの難しい関係を抱えるポーランド、フィンランド、ウクライナ、ラトヴィア、リトアニア、エストニアの歴史・文化と政治を学びます。20世紀の2度の大戦のみならず、強制移住などでも多くの犠牲を出したこの地域の生き残りと発展の戦略やEU・ロシアとの関係を知ること、現在の国際政治に対する理解が深まることを期待しています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/ 9(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	欧州東部における国境の変遷と安全保障の希求	早稲田大学教授 小森 宏美	
2	10/16(金)		近世ポーランド・リトアニアの光と影	大正大学名誉教授 白木 太一	
3	10/23(金)		近現代ポーランドとロシア、ウクライナ	津田塾大学教授 吉岡 潤	
4	10/30(金)		EUにおけるポスト社会主義国の課題 ― リトアニアの事例	新潟大学名誉教授 小山 洋司	
5	11/27(金)		リトアニアの言語文化と近現代史 ― 「奇跡の言語」はいかにして国を救ったか	東京外国語大学講師 櫻井 映子	
6	12/ 4(金)		戦間期リトアニアから読み解く現代世界 **遠隔講義	日本学術振興会特別研究員-CPD 重松 尚	
7	12/11(金)		独立回復後のリトアニア ― 小国はなぜ「強靱」なのか **遠隔講義		
8	12/18(金)		19～21世紀のラトヴィアの歴史①鉄道の発展を通して考える	昭和女子大学名誉教授 志摩 園子	
9	1/ 8(金)		19～21世紀のラトヴィアの歴史②女性の高等教育を通して考える		
10	1/15(金)		フィンランドの独立に至るまでの道のり ― アイデンティティの形成と近代国家の成立	東海大学准教授 柴山 由理子	
11	1/22(金)		フィンランドの危機への対応 ― 対ソ戦争からEU・NATO加盟まで		
12	2/ 5(金)		ポーランドと東部の領土 ― 多民族・多宗教の空間	東京外国語大学准教授 福嶋 千穂	
連絡事項	※「**遠隔講義」では講師は会場外からオンラインで講義し、会場で受講の皆さまにはスクリーンで受講いただきます。				